第 10 講 【近世編】アジアの繁栄
PART5 清の中国支配

Chapter 1　女真の台頭と清の中国支配

目標　女真の台頭と「清」の成立について知ろう。
清の中国支配はどのように行われたのかおさえよう。

1　女真の台頭

16 ～ 17 世紀，中国東北部では，**ツングース系**の**女真**の諸部族が台頭した。

①女真の統一

1616 年　建州部の〔　　　　　　　　〕（太祖）が全**女真族**を統一し，〔　　　　　〕を建国

※ 12 世紀に女真が建国した金と区別して，こう呼ばれる。

※**盛京**（現・瀋陽）を都とする。

②ヌルハチの支配体制

A　軍事・行政組織〔　　　　　〕を創設

全軍を８つの軍団に編成，８種類の旗をそれぞれの標識とした（満洲八旗）

※旗地（土地）を与えられた旗人が軍を統括した。

※モンゴル人による蒙古八旗，漢人による漢軍八旗もつくり，要地に駐屯させる。

B　満洲語を表記するため〔　　　　　　　　〕を創始

女真の勢力範囲

③清の成立

1635 年　ヌルハチの子〔　　　　　　　　　　〕が内モンゴルの**チャハル**を平定

1636 年　**ホンタイジ**が国号を〔　　　　〕に改称，遊牧民族共通の皇帝（太宗）となる

※民族名も満洲族に改める。

1637 年　**朝鮮（李朝）**を服属させる

2　清の中国支配

①清の中国侵入

1644 年　**李自成**が北京を占領し，明が滅亡。山海関を守る明の将軍〔　　　　　　〕が**清軍**に降伏

※順治帝を北京に招く。

清の第３代皇帝**順治帝**（世祖）が李自成を倒し，〔　　　　〕に遷都

※呉三桂ら３人の漢人武将を優遇。雲南，広東，福建の〔　　　　〕とする。

②清の漢人社会の統治

A　懐柔策

あ　明朝の宮殿だった**紫禁城**を再建，宮殿とする

い　**科挙**など明の諸制度を継承し，儒学を振興，中国王朝の伝統を尊重

う　中央官庁の要職の定員を，満洲人と漢人が同数とする

〔　　　　　　　　　　〕を採用

え　漢人主体の治安維持部隊〔　　　　〕を組織

B　威圧策

あ　漢人男性に服従の証明として，満洲人の髪型

〔　　　　〕を強制

→抵抗運動がおこり，反満的な思想が広がる

い　反清的な言論・思想を弾圧する〔　　　　　　　　〕，

特定の書籍を禁じる〔　　　　〕を行う

辮髪

まとめ　ヌルハチが女真族を統一して後金を建て，ホンタイジが国号を「清」とした。高級官僚には満漢併用制をとるなど懐柔策を行う一方，辮髪の強制や文字の獄による思想弾圧など威圧策も行った。

Chapter 2　清の繁栄

目標　康熙帝がどの地域を征服したのか知ろう。
清がどのようにして多民族の中国社会を統治したのか学ぼう。

1　康熙帝の治世

清は，第４代皇帝康熙帝のときに統治の基礎ができ，康熙・雍正・乾隆の３代の時代に最盛期を迎えた。

①〔　　　　　　　〕の内政

1673 年　**呉三桂**ら三藩王が〔　　　　　　　　　〕をおこす

※康熙帝が雲南・広東・福建の三藩の廃止を決定したことに反発。

1681 年　康熙帝が三藩の乱を平定

18 世紀初頭　イエズス会以外の布教を禁止（**典礼問題**）

1717 年　広東から〔　　　　　　　　　〕を施行

※**丁税**（人頭税）を**土地税**の中にくり入れて徴収。人頭税を廃止。

②康熙帝の外政

1661 年　明の遺臣〔　　　　　　　〕が**台湾**からオランダを追放。反清勢力の拠点とする

※明の貿易商，鄭芝竜と日本人女性の間に生まれた。国姓爺とも呼ばれる。

1661 年　**遷界令**を公布。沿岸住民を内陸に強制移住させて沿岸を無人化する

→海禁の強化により鄭成功の活動を抑制

1683 年　鄭氏が降伏。〔　　　　　〕を領土とする

1684 年　海禁をゆるめて翌年広州など４か所に税関（海関）を設置。民間貿易を認める

1689 年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とする。

1720 年　**チベット**に大軍を送って保護下に置く

※外モンゴルのハルハを征服する。

2　雍正帝と乾隆帝

①〔　　　　　　　〕の治世

1724 年　**キリスト教の布教を全面的に禁止し**，宣教師を国外に追放

1727 年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※モンゴル北部の国境線の画定，ロシアが北京へ隊商を派遣することが定まる。

1732 年　軍事事務処理のために〔　　　　　　〕を設置

→のちに政治の最高決定機関となる

②〔　　　　　　〕の治世

1757 年　海外交易を〔　　　　〕1 港に制限し，特権商人団体〔　　　　〕が管理する

1758 年　オイラト系の〔　　　　　　　　　〕を滅ぼし，**東トルキスタン**全域を占領

※回部と合わせて東トルキスタン地域を〔　　　　〕（新しい領土）と名づける。

3　清の統治

清は，広大な版図を直轄地と非直轄地に分けて統治した。

①**直轄地**（中華十八省・東北地方・台湾）

中央から科挙官僚を派遣して統治

②〔　　　　〕（非直轄地のモンゴル・チベット・新疆・青海）

中央官庁の〔　　　　　　〕の監督のもと，自治が行われる

③**属国**

朝鮮，琉球，ビルマ，タイ，ベトナム，ネパールが清へ朝貢

清の最大領域

まとめ

鄭成功を討伐し，台湾を直轄地としてチベットやモンゴルを征服したほか，ロシアと国境画定条約を結んだ。

中国内地や東北地方などは直轄地，モンゴルやチベットなど少数民族の地域を藩部とし，藩部は理藩院が監督した。

第 10 講 PART5　確認問題

1 女真を統一して，1616 年に後金を建国した人物はだれか。

① ホンタイジ　② シヴァージー
③ 完顔阿骨打　④ ヌルハチ

2 後金の建国者が創設した軍事・行政組織を何というか。

① 八旗　② 猛安・謀克
③ 千戸制　④ 募兵制

3 明が滅亡すると清に降伏した明の将軍はだれか。

① 顧憲成　② 李自成
③ 呉三桂　④ 張居正

4 人頭税を土地税にくり入れて一括徴収する，清の税制はどれか。

① 両税法　② 一条鞭法
③ 地丁銀制　④ 租庸調制

5 清に抵抗した明の遺臣，鄭成功が拠点としたのはどこか。

① マカオ　② 台湾
③ 琉球　④ アユタヤ

6 1689年に清がロシアと締結した国境画定条約を何というか。

① カトー＝カンブレジ条約　② メルセン条約
③ トルデシリャス条約　④ ネルチンスク条約

7 東トルキスタン全域を占領するなどして，清の領土を拡大させた皇帝はだれか。

① 康熙帝　② 乾隆帝
③ 雍正帝　④ 順治帝

8 清が藩部を監督するために設置した中央官庁はどれか。

① 理藩院　② 軍機処
③ 御史台　④ 緑営

第10講 PART5　確認問題 解答

1 解答：④

建州女真族の族長だった**ヌルハチ**は，周辺の女真族を次々に征服して統一し，1616年に初代ハンとなって後金を建国した。

2 解答：①

八旗はヌルハチが創設した軍事・行政組織。全軍を旗と呼ばれる8つの軍団に分け，黄，白，紅，藍の4色旗と，それらに縁取りをした4色旗の計8種類の旗を標識とした。

3 解答：③

呉三桂は，司令官として山海関（万里の長城の東端）で清と対峙したが，明が滅亡すると清に降伏して山海関を開き，清の3代皇帝順治帝を先導した。

4 解答：③

地丁銀制は，第4代皇帝康熙帝の時代にはじめられ，次の雍正帝の時代に全国に広まった。

5 解答：②

鄭成功は1661年にオランダを追放して**台湾**を占領し，明王朝復興運動の拠点とした。

6 解答：④

康熙帝治世下の1689年，清はロシアと**ネルチンスク条約**を結び，アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とすることを定めた。ヨーロッパの国と結んだ最初の対等な条約である。

7 解答：②

第6代皇帝**乾隆帝**は，豊かな国家財政に支えられて清の最大版図を築いた。

8 解答：①

清は中央官庁に**理藩院**を設置して，モンゴル，チベット，新疆などの藩部を統括した。